

地域貢献に関する情報開示

平成17年5月

株式会社 富山銀行

地域への貢献について

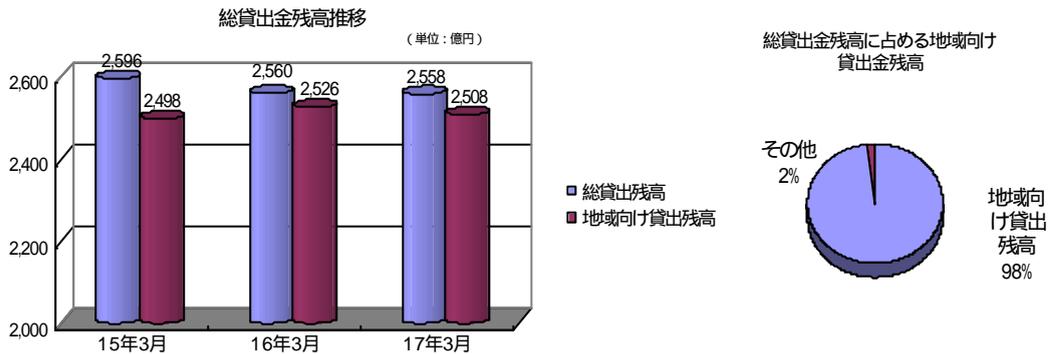
地域金融機関の基本的な使命は地域への円滑な資金供給と金融サービスの提供にあり、本業業務を通じて地域社会・経済の発展に寄与することが富山銀行の地域貢献のあり方であると考え、富山県内一円を営業基盤として信用供与、利便性提供など総合金融サービスを積極的に展開、地域経済活性化など地域貢献に前向きに取り組んでおります。また、地域のお客様からの信頼をより確固とするため、「健全堅実経営」に徹するなど健全性の確保に引き続き努めることも重要な地域貢献のひとつと考えております。

富山銀行が営業基盤とする地域は、**富山県内一円**です。

1. 地域へのご融資の状況

○ご融資全般の状況

17年3月の総貸出金残高は2,558億円、地域向け貸出金残高は2,508億円であり、地域向け貸出金の総貸出金残高に占める割合は98.0%であります。また、地域向け貸出先数は20,641件と全体(20,652件)の99.9%を占めております。今後も地域・中小企業向け貸出を中心として取り組んで参ります。



貸出金の状況

	16年3月末	17年3月末
総貸出金残高	2,560	2,558
内地域向け貸出残高	2,526	2,508
地域向け貸出金比率	98.7	98.0

地域向け貸出残高は、地元中小企業や住宅資金需要に積極的に応えたいましたが、法人部門資金需要が低調であり、前年同期比1.8億円減少し、2,508億となりました。

業種別貸出金残高(17年3月末現在)

	貸出金全体		うち地域向け貸出金	
	先数	残高	先数	残高
製造業	1,177	50,921	1,176	50,721
農業	9	2,693	9	2,693
林業	2	382	2	382
漁業	3	53	3	53
鉱業	9	593	8	141
建設業	1,288	27,373	1,288	27,373
電気・ガス・熱供給・水道業	11	2,173	11	2,173
情報通信業	23	2,519	23	2,519
運輸業	159	10,284	157	8,748
卸売・小売業	1,017	32,676	1,017	32,676
金融・保険業	13	2,851	10	1,662
不動産業	265	14,665	264	14,035
各種サービス業	1,151	24,728	1,148	23,783
地方公共団体	23	20,547	23	20,547
その他	15,502	63,352	15,502	63,352
合計	20,652	255,811	20,641	250,860

○中小企業向けご融資の状況

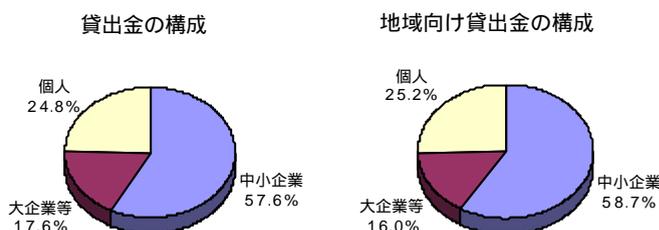
中小企業の皆さまの資金需要に積極的にお応えすることを中心として地元経済の発展に貢献することを基本方針といたしております。

(17年3月末現在)

中小企業向け貸出先数	先	5,071
同 貸出金残高	億円	1,473
同 貸出金比率	%	57.6
地域の中小企業向け貸出先数	先	5,071
同 貸出金残高	億円	1,473
同 貸出金比率	%	58.7
地域の保証協会保証付貸出金残高	億円	308

富山銀行の中小企業向け貸出金は全て地元中小企業の皆様への貸出金です。

$$\text{地域の中小企業向け貸出金比率} = \frac{\text{地域の中小企業向け貸出金残高}}{\text{地域向け貸出金残高}}$$



総貸出金に占める中小企業向け貸出金比率は57.6%、地域の中小企業向け貸出金比率は、58.7%であります。

中小企業向け新商品

中小企業の皆さまの幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするため、「ビジネスquickローン」、「とやまニュービジネスローン」(16年7月)を発売いたしました。また、北陸税理士会と連携し、精度の高い財務諸表を提出した法人や個人事業主の方に、事業資金を有利な条件でご融資する「とやま税理士紹介ローン」(16年11月)を発売いたしました。

これらの商品は、富山県内で事業を行っている中小企業及び個人事業主の方を対象とした事業資金を無担保、第三者保証人不要で融資する商品です。

(主な特徴)

○とやま税理士紹介ローン

・北陸税理士会会員から「中小会社会計基準適用に関するチェックリスト」の交付を受けている中小企業に対し事業資金を提供します。

融資限度額 500万円以内

契約期間 3年以内

担保 不要

保証人 法人の場合は代表の方、個人事業主の場合は不要

新しい中小企業金融への取組み強化

地元企業の皆さまの資金調達手段の多様化に柔軟に対応するため、「無担保私募債(富山銀行保証付および適格機関投資家限定)」の取扱いを開始、私募債の起債に協力しています。

また、担保・保証に過度に依存しない融資の促進として、財務制限条項を活用したシンジケートローンへの積極的な参加や、売掛債権担保融資についても積極的に対応いたしました。

地域公共団体の制度融資への取組状況

富山銀行は富山県及び富山県内各市町村の制度融資取扱金融機関として、中小企業の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えしています。主な制度の概要、取扱実績は以下のとおりです。

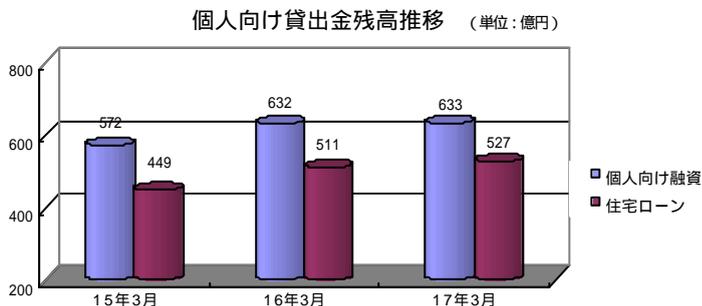
制度の名称	制度の概要	(単位:件・百万円)	
		件数	17年3月末残高
商工業振興、地場産業育成資金	設備の近代化、経営合理化、売上減少補填及び地場産業を育成するための事業資金	2,568	8,167
経営安定資金	取引先の倒産、売上減少等の企業の安定資金	935	5,985
緊急経営基盤安定資金	県・市町村の制度融資の借換資金	267	1,594
商工業活性化資金	建築物の新改築、機械等の設置、土地取得のための資金	23	289
設備近代化資金	近代合理化設備の設置、店舗等の建設、高度技術を利用した設備の導入資金	171	761
工場移転促進事業資金	工場を適地へ移転するための資金	2	35
独立開業、創業者支援資金	新たに事業を開始する方、または創業(創業から1年未満を含む)に必要な事業資金	90	635
短期運転資金(季節資金)	一時的な資金を必要とする中小企業向けの資金	24	53

(件数、金額は部分直接償却前のものです。)

○個人向けご融資の状況

富山銀行では「家計の銀行」を標榜し、個人のお客様のニーズにも広くお応えするために、「とやまローンステーション」を設置し、土曜、日曜、祝日もゆっくりとローンの相談をしていただける体制とし、併せて各営業店において休日ローン相談会を適宜開催するなど地域の皆さまの利便性を重視しております。

また、ライフサイクルに合わせた、個人のお客様向けローンの品揃えも充実させており、こうした取組みにより、個人ローンは順調に推移しております。



住宅ローンの新商品の発売やローンステーションの設置、休日ローン相談会の開催等、お客様のニーズに迅速にお応えした結果、個人向け貸出金残高は順調に推移しています。

(17年3月末現在 住宅ローン含む)

個人向け貸出先数	先	15,502
同 貸出金残高	億円	633
同 貸出金比率	%	24.7
地域の個人向け貸出先数	先	15,502
同 貸出金残高	億円	633
同 貸出金比率	%	25.2

富山銀行の個人向け貸出金は全て地元のお客様への貸出金です。

個人向けローンの充実

地域の皆さまのお役に立つため健全な資金需要に積極的にお応えし、豊かな暮らし作りのお手伝いをするため、住宅資金や教育資金、マイカー資金などライフサイクルに合わせた各種個人向けローンの充実に努めて参ります。なお、各種商品の内容については、当行ホームページ (<http://www.toyamabank.co.jp>) をご覧願います。

個人向けローンの見直し

日々変化するお客様のニーズに対応できるよう、個人向けローンの商品性を常に見直しています。特に、住宅ローンや教育ローンを中心に見直しを図り、より一層お客様の利便性向上に資するよう商品内容を充実させております。

(見直し内容)

- とやま全期間固定金利住宅ローン
融資対象となる中古住宅の建築経過年数制限を撤廃
- とやま教育プラン
融資限度額(貸越限度額)を300万円から500万円に引上げ
- 利用対象学校を大学から高校に拡大

台風第23号被災者への緊急融資の取扱い

17年10月の台風第23号により被災された個人のお客様に対する、富山市台風第23号災害緊急融資利子補給事業に基づく低利融資制度の取扱いを行い、被災者の方々の復興支援に協力いたしました。

住宅ローン説明会の開催

景気回復期待から金利先高見通しがある中、全期間固定金利を希望されるお客様のニーズにお応えするため、「とやま全期間固定金利住宅ローン」(フラット35)の説明会を開催するなど、住宅ローンに対するニーズには積極的にお応えしております。

個人向け相談窓口の充実

「ローンの相談は、ゆっくりと納得のいくまで…」をコンセプトに、土・日・祝日もお客様の様々なご質問やご要望にお応えするために、これまでのローンステーションに加え「とやまローンステーション魚津」を16年9月に開設、以下のとおり県内5拠点体制とし、より地域の皆さまの利便性向上に資するよう体制整備を図っております。

また、平日にご来店できないお客様を対象に「休日ローン相談会」を随時開催しております。16年度は全店で延べ248回開催いたしました。

名称	住所	電話番号(フリーダイヤル)
とやまローンステーション五福	富山市五福町5471番3 五福支店内	0120-814-322
とやまローンステーション高岡	高岡市江尻408番地5 旭ヶ丘支店隣接	0120-608-116
とやまローンステーション砺波	砺波市中央町3番25号 砺波支店隣接	0120-756-073
とやまローンステーション上市	中新川郡上市町法音寺17番地4号 上市支店隣接	0120-108-017
とやまローンステーション魚津	魚津市吉島3097 3	0120-154-679

2. 地域のお客様への利便性提供の状況

○店舗等の状況

富山県内 10市 5町に有人店舗 35店舗、店舗外 A T M C D を 50ヶ所設置し、地域の皆さまの利便性向上ときめ細かいサービス提供に心掛けております。なお、有人店舗、無人店舗の県内比率はいずれも 100%であります。

また、休日ご利用いただける A T M C D は、有人店舗 35店舗に設置してある A T M 全てと店舗外 A T M C D 50ヶ所のうち 41ヶ所、合わせて 76ヶ所です。

○預金業務等の状況

17年 3月の総預金残高は 3,570億円、地域の預金残高は 3,550億円であり、総預金残高に占める地域の預金残高の割合は 99.4%であります。また、預かり資産残高は全て地域からお預りしています。

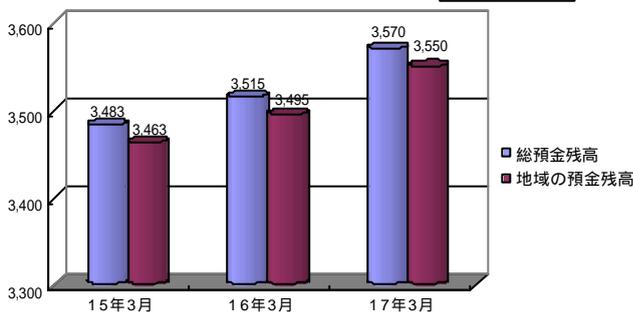
(17年3月末現在)

総預金残高	億円	3,570
預かり資産残高	億円	84
地域の預金残高	億円	3,550
同 預り資産残高	億円	84

預り資産とは預金以外の各種金融商品（公共債、投資信託、保険商品等）のことをいいます。

地域に密着して営業基盤の拡充に引き続き努めました結果、地域の預金残高・預かり資産残高とも順調に推移しております。

総預金残高・地域の預金残高推移 (単位: 億円)



総預金残高に占める地域の預金残高

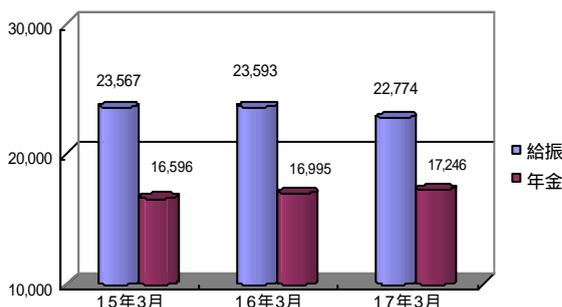


決済・資産形成サービス等の利用状況

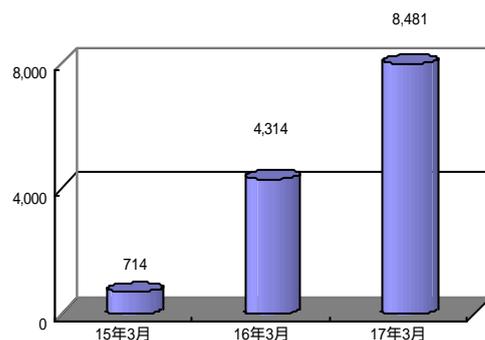
富山銀行ではお客様のお役に立つよう給与・年金のお受け取りや、公共料金等の自動引き落としの決済サービスを行っております。

また、一般、住宅、年金の各種財形貯蓄の取扱いや個人型確定拠出年金受付業務等を通じて、お客様の資産形成サービスの提供に努めました結果、預金口座数は 65万口座となりました。

給振・年金件数推移 (単位: 口)



預かり資産残高推移 (単位: 百万円)



預り資産 = 公共債 + 投資信託 + 保険商品等

地域のお客様へのサービスの充実

個人のお客様を対象として、金利上乘せ定期預金の発売や総付景品付の定期預金や投資信託、外貨預金等の発売をボーナスシーズンに行うなど、様々な企画を随時実施しています。

また、お客様のお取引内容を自動的にポイントに換算し、その合計ポイントに応じてローン金利の優遇や手数料割引の特典が受けられる「富スマイルポイントクラブ」やインターネットに接続するパソコンや正・ド契約のある携帯電話を使って銀行窓口に来店することなく振替・振込、残高・入出金明細照会などの銀行取引が出来る「富山ダイレクトバンキング」等、地域のお客様のお役に立てるサービスの提供、充実に努めております。

○その他

富山銀行はグループ(富山銀行及び関係会社)全体を通じて地域の皆さまにきめ細やかなサービスの提供を通じ皆さまのお役に立てるよう心掛けております。



3. 地域経済活性化への取組状況

○地元企業に対する経営サポートの状況

地元企業の経営相談等への取組状況

富山銀行ビジネスクラブ

富山銀行ビジネスクラブは、中小企業及び企業経営者に対するコンサルティング強化、情報提供強化を図るため、(株)ベンチャー・リンクと提携し平成2年10月に発足しました。講演会の開催や、各種経営情報の提供、取引先の紹介や販路紹介(ビジネスマッチング)に加え、地元税理士とも提携し各種FP相談に応じております。16年度は取引先企業一般人向けの「経済講演会」をはじめ、取引先企業を対象とした「新入社員セミナー」業種別セミナー(製造業・建設業・小売業・サービス業)等各種セミナーを開催し、企業経営者の皆さまへの情報提供を行なっております。

ビジネス・マッチング

16年10月、東京ビックサイトで全国規模の商談会「東京ビジネスサミット2004」へお取引先企業11社と他北陸地区金融機関5行庫33社にて「北陸街道」の統一ネーミングにて合同出展を行いました。2日間の会期中で当行出展企業においては、取引商談件数68件あり、今後、新たな商談成立が見込めます。

なお、これまでのビジネス・マッチング成立件数は79件あり、今後も積極的に取引先の紹介や販路紹介支援を行って参ります。

経営なんでも相談会

経営環境が激しく変化する中、経営者が抱える諸問題を解決するためのアドバイスを行うことを目的として、各地区の商工会議所、中小企業支援センターなどのご協力をいただき、「経営なんでも相談会」を開催しております。16年度は県下4ブロックにて延べ12回実施、合計70社の相談に応じております。

[主な相談内容]	営業赤字体質からの脱却について
(16年度)	コストダウンによる営業力の強化について
	新製品・新業務による新たな業務展開について
	雇用問題(従業員の安定雇用・人材確保等)について
	個人情報保護法への対応について 等

地元企業の再生への取組状況

早期事業再生について当行に求められているのは、早期に経営支援を実現し再生を図るための情報提供者・経営相談者としての役割と、そうした企業への資金の供給者としての役割であるとの認識に立ち、中小企業支援に専門性を有する人材の育成と体制の整備を図り、要注意先債権の健全債権化等を中心に取組んでいます。具体的には、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の実実施スケジュールに沿って進めて参りました。

政府系金融機関等との業務協力協定

富山銀行は、地域経済の活性化に寄与することを目的として、政府系金融機関4行とそれぞれ業務協力協定を締結、地域におけるベンチャー企業向け支援、企業再生支援、プロジェクトファイナンス等、中小企業者に対する情報交換の分野について相互に協力しています。また、地域金融機関と政府系金融機関それぞれが持つ固有の機能や特性を活かし、相乗効果を発揮することにより、地域経済の活性化に貢献して参ります。

[連携金融機関]	中小企業金融公庫(15年12月)	日本政策投資銀行(16年2月)
	商工組合中央金庫(16年3月)	国民生活金融公庫(16年6月)

○企業の育成への取組

企業育成に対する当行へのニーズは、資金供給者としての役割と事業計画の作成のためのアドバイスなど事業展開に資する情報提供者としての役割の両方であるとの認識に立ち、目利き研修などの充実による融資審査能力の向上や起業相談能力の向上を中心に行い、地元商工会議所、中小企業支援センターなどとの連携を図りながら進めております。また、地元大学への寄付講座を行い、将来の経営者育成にも努めております。

地域金融機関との連携強化

富山銀行は、創業・新事業支援事業を強化する目的として、「産業クラスターサポート会議」へ積極的に参加し地域金融機関と情報交換を行うとともに、産学官とのネットワークの構築を図り、地元の有望な研究開発企業と優良案件の発掘を行い、今後の地域活性化の芽を育て参ります。

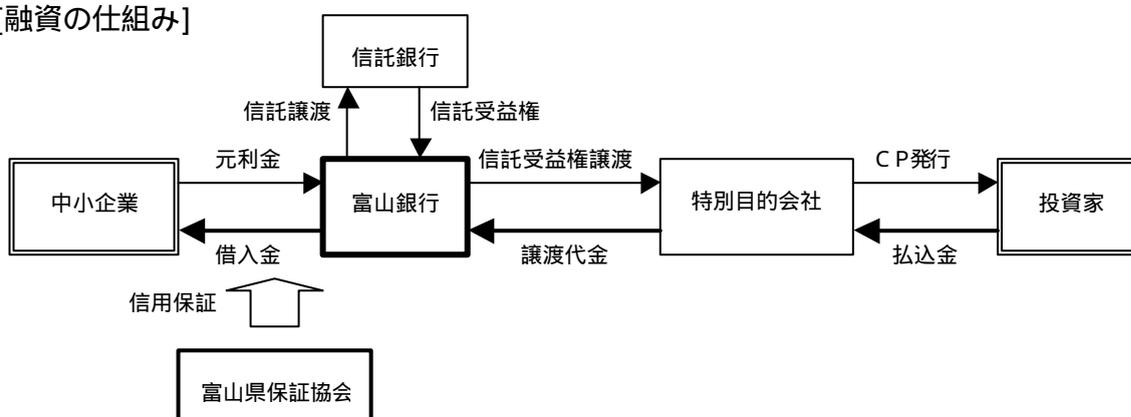
○地方公共団体の事業との関係

富山銀行は地域の金融機関として地方債の積極的な引受を行う等、地元地方公共団体が行う産業基盤整備及び生活基盤整備等の事業に積極的に協力しています。

中部CLOへの参加

中部CLO融資とは、CLO（ローン担保証券）の手法を利用し、複数の融資債権を取りまとめて証券化を行うことより投資家から資金を調達し、地元中小企業の皆さまに無担保融資を行い、資金調達の多様化を図る融資であります。当行では、16年7月、地方公共団体主導型の中部CLOに参加し、6件135百万円の融資を実行いたしました。

[融資の仕組み]



4. その他

○地域への各種支援活動の状況

ボランティア活動等の状況

富山銀行では、地域社会の一員として毎年全行を挙げて「全店一斉ボランティア清掃」を実施しており、16年度で13回目となりました。また、各支店単位でボランティア等地域貢献活動を随時行うほか、行員の自発的な地域奉仕活動、環境保護活動、スポーツ指導・青少年育成・教育支援活動、社会福祉活動等に積極的に参加できるように「ボランティア休暇制度」を設けております。

環境問題への取組み

富山銀行では、環境問題への取組みの一環として地球温暖化防止の観点から、夏季期間に「本部 NO (ノー) ネクタイデー」を設定、本部において室温27度以上を目安に冷房温度を設定し、省エネルギーに取り組んでいます。同じく地球温暖化防止の観点から、16年4月より毎週第1・3水曜日を「NO (ノー) マイカーデー」として、マイカー通勤の自粛を全行員に推奨しています。

以上